



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-073

発行 50年 1月14日

訂正

1. 標 題 燃料タンク・ベントチューブの点検及び取付クランプ追加
2. 適用機体 FA-200シリーズの機体で製造番号#263迄の機体
3. 適用度 必須事項
4. 目 的 燃料タンク・ベントチューブ組立、付根部に割れが発生した事例があり、そのための特別点検を実施し、合わせて取付クランプ追加を行う。
5. 指 示 当該部を目視点検し、割れの有無確認、異状がなければクランプを追加する。割れが発生した場合、富士重工業(株)に連絡のこと。
6. 実施時期 次の50時間又は100時間点検の何れか早い時期
7. 承 認 航空局承認 (NO. - 東 - 099) 49-12-27
8. 所要部品 この作業には下記の部品が必要である。

NO.	部品番号	部品名称	1機当個数
1	AN742D4	CLAMP	3
2	AN743-13	CLIP	2
3	MS35206-245	SCREW	2
4	NAS679A08W	NUT	2
5	MS20995-C32	WIRE, LOCK	AR

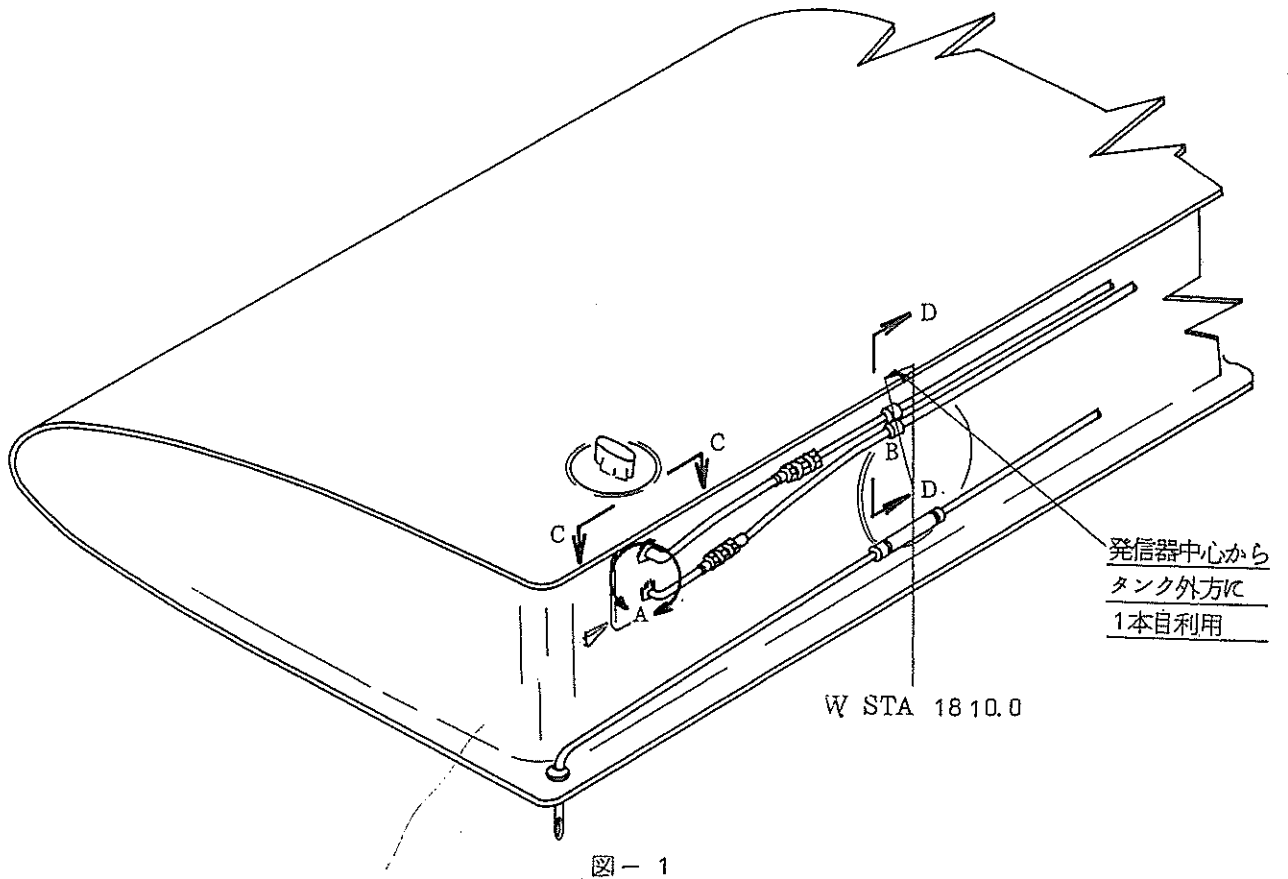
9. 特殊工具 特殊スパナ (200-590071-003)
10. 重量重心 変化なし

FAS-073

PAGE 1 OF 3

- 1 1. 準備資料 なし
- 1 2. 所要工数 8 M/H
- 1 3. 作業手順

- (1) 機体を安全な場所に位置し、燃料を排出する。
- (2) 燃料タンクをサービス・マニュアル項目 6-3-1 に依り取り外す。
- (3) 図-1、A部に於いて燃料タンク・ベントチューブの割れの有無を点検する。異状がなければ(4)項以降の作業を実施する。異状が認められた場合、この断面で富士重工業(株)に連絡のこと。
- (4) 図-1、B部に於いて、燃料計発信器取付ボルトの、安全線を切り取り外す。
- (5) 前項ボルトを利用し、クリップAN743-13を取り付ける。この場合ボルトに使用していたワッシャーを取り除く。
- (6) ボルトを規定トルク(50±5 lbs)で締付け、安全線を掛ける。
- (7) 左燃料タンクの場合
前(5)項のクリップにクランプAN742D4、2ヶ、スクリューMS35206-245、ナットNAS679A08Wを使用し、ベントチューブ2ヶを取り付ける。
- (8) 右燃料タンクの場合
前(5)項のクリップにクランプAN742D4、1ヶ、スクリューMS35206-245、ナットNAS679A08Wを使用し、ベントチューブ1ヶを取り付ける。
- (9) 燃料タンクをサービス・マニュアル項目 6-3-3 に依り取り付ける。



クランプ	AN742D4	2ケ
クリップ	AN743-13	1ケ
スクリュ	MS35206-245	1ケ
ナット	NAS679A08W	1ケ

クランプ	AN742D4	1ケ
クリップ	AN743-13	1ケ
スクリュ	MS35206-245	1ケ
ナット	NAS679A08W	1ケ

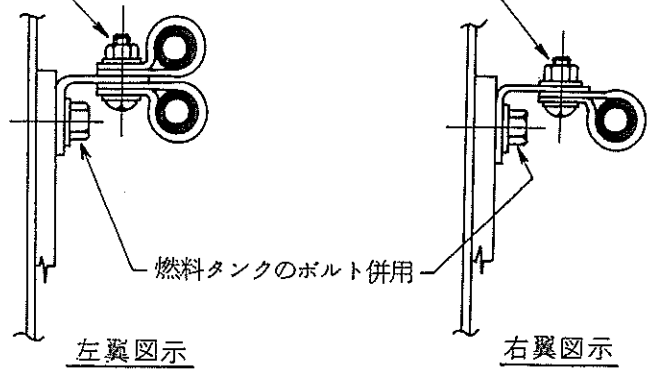
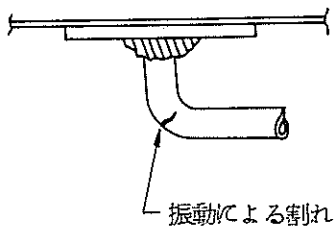


図-2